

彦根市山崎で集落環境点検を実施

6 月 10 日（火）に山崎自治会と同農業組合で集落環境点検を実施されるに当たり、当課も獣害に強い集落作り加速化事業の推進として、彦根市有害鳥獣被害対策協議会と連携して支援しました。

山崎集落では、10 年ほど前からイノシシの被害がひどくなっており、平成 24 年度にワイヤーメッシュ柵を設置しています。

6 月 7 日 8 日に集落で柵の補修点検を行ったところ、複数個所で柵が破られ集落側の竹藪でイノシシに加害されていることを確認されました。

そこで急遽集落環境点検を行い、柵の補修方法などを検討することとなりました。

点検方法の確認後、現場を歩きながら要所要所を点検し、イノシシの侵入跡や経路の確認、ワイヤーメッシュ柵の設置状況を確認しました。

住宅のすぐ裏までイノシシが出ていることや、ハクビシンがいることなども確認できました。

検討会では、柵の補修方法について話し合い、まずは柵の隙間を無くすことと、柵が動かないよう支柱の追加する方針になりました。

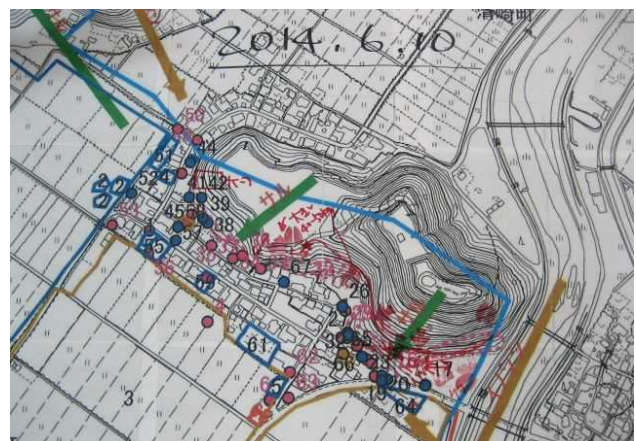
点検の結果は平成 24 年の集落環境調査地図に追加し、これからの野生獣対策に向けての検討材料としています。

また翌日には 2 台のトレイルカメラを設置し、実際の野生獣の動きを確認していくこととなりました。

今後、当課では、各市の獣害対策協議会を支援する形で、集落環境点検を支援してゆく予定です。



メッシュ柵の点検



集落環境点検マップ